



企業向け研修プログラム・ 気候変動適応e-learningの開発

国立研究開発法人 国立環境研究所
気候変動適応センター
気候変動影響観測研究室長 岡 和孝

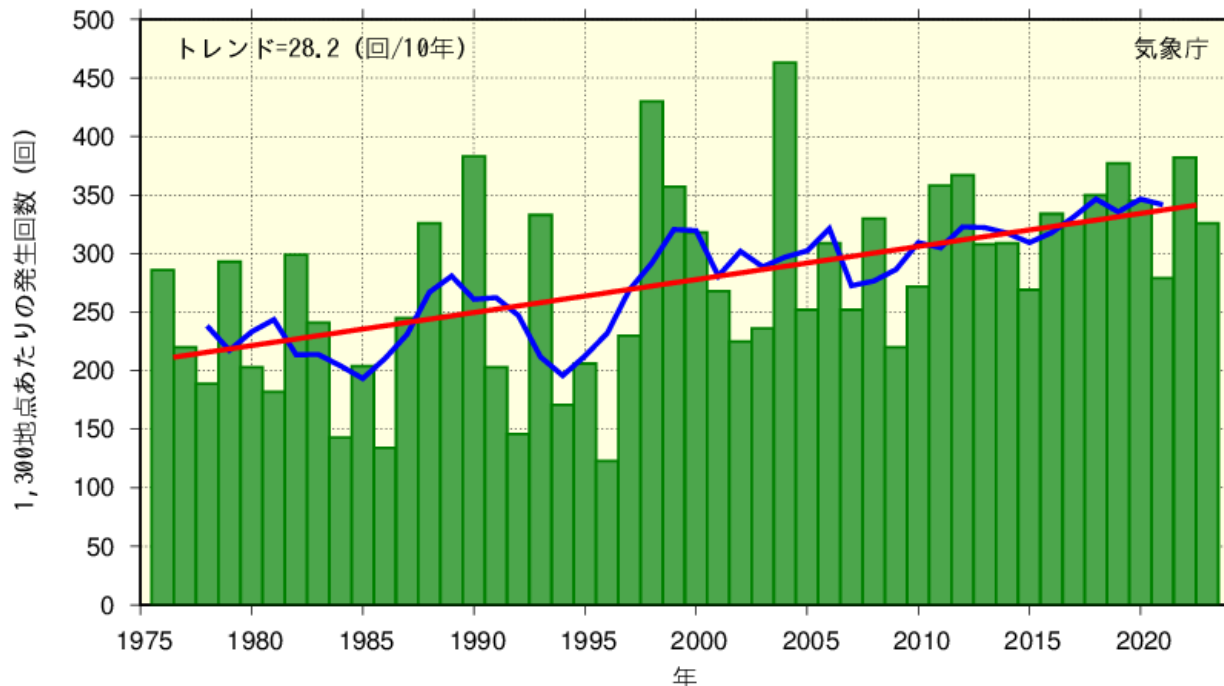
2025年6月9日(月)

SIP「スマート防災ネットワークシンポジウム2025」

SIP防災萌芽技術ピッチ

気候変動による影響と適応

- ・気候変動による影響はすでに顕在化している。
- ・短時間でたくさんの雨が降る(1時間降水量50mm以上)回数は増加。
- ・世界平均気温の上昇により、今後もさらに増加することが予想されている。
- ・気候変動影響を考慮した気候変動適応が必要。



図：1 時間降水量50mm以上の年間発生回数の変化

世界平均気温2℃上昇時

約1.6倍に増加

世界平均気温4℃上昇時

約2.3倍に増加

気候変動適応e-learningの開発

- ・企業が将来予測を踏まえた効果的な対策を行うためには、高い気候変動適応能力を備えた人材が必要。
- ・そのため、企業の人材育成を目的とした研修プログラムの1つとしてe-learningを開発。



**企業のための
気候変動適応e-learning**

SiP 戦略的イノベーション創造プログラム
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

⑤ 今後の気温の変化

気候変動の影響・適応

- ・図4は、温室効果ガス排出量に応じたシナリオ別の将来の世界平均気温を示しています。パリ協定では**SSP1-2.6**を目標に据えています。
- ・厳しい温暖化対策をとらないと、**最悪の場合、SSP5-8.5の経路を辿ることになり、世界平均気温が4℃以上上昇する可能性もあります。**
- ・どのシナリオでも少なくとも今世紀半ばまでは気温上昇が続くことが予測されています。

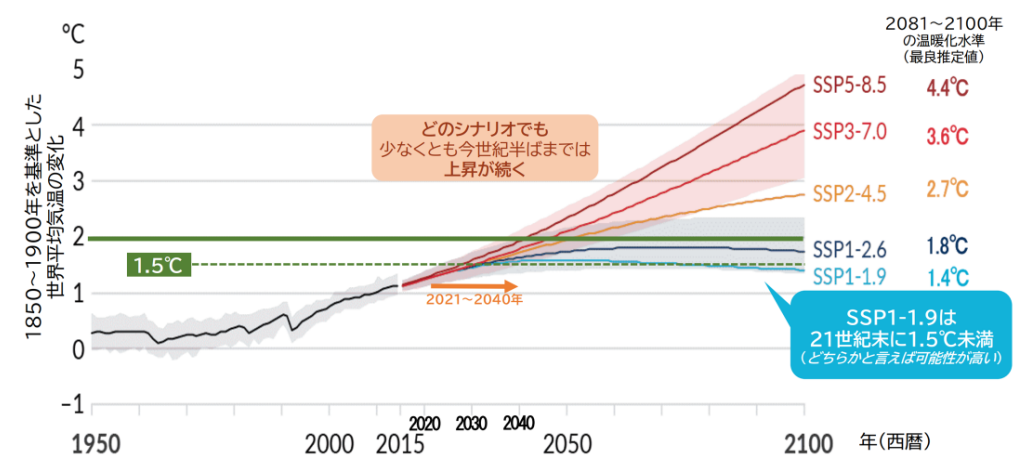


図4：1850～1900年を基準とした世界平均気温の変化※10

気候変動適応e-learningの開発

- ・教材は各単元10分程度の動画で構成、各単元修了ごとに設問を実施
- ・基礎的な内容に加え、特定分野も用意 ニーズに分けて受講可能
- ・スマート防災課題における他の成果物の動画作成も検討中

【基礎】

No,	タイトル
1	気候変動の影響・適応
2	企業と取り巻く環境
3	気候変動適応による効果
4	リスクと機会
5	気候リスクと機会の洗い出し
6	重要な物理的リスク・機会の特定と適応策の実践
7	適応策の実施と適応事例
8	機会を活用した適応ビジネス
9	総括

【特定分野 “水災害”】

No,	タイトル
1	水災害リスクの現状と将来の予測
2	水災害への適応における検討と事例

【特定分野 “シナリオ分析”】

No,	タイトル
1	シナリオを用いた分析の概要
2	リスク・機会による事業インパクト評価

企業研修プログラム

- ・オンサイトで行う企業向け研修プログラムを構築
- ・事前にe-learningを受講することで効果的な学習が可能
- ・ワークショップ実施によって、より実践的な対策の検討を行う。

No,	研修教材
1	将来予測のためのシナリオ分析手法とその考え方
2	気象予測に用いられるデータの活用と事例
3	主に水災害にかかる気候変動影響評価手法
4	サステナビリティ関連の開示要請とその対応

No,	ワークショップテーマ
1	自社の物理的リスクと機会の把握、適応策の検討
2	適応策実践のための自社内への啓発と課題

研修タイトル

研修の目的と概要

本研修は、民間事業者のみならずが気候変動による影響をジブンゴト化し、気候変動適応に取り組むきっかけとしていただくことを主な目的としたものです。

本研修では、e-learning学習コンテンツで学んだ内容を踏まえて、民間事業者の目線から気候変動による物理的リスクと機会の把握および適応策の検討を行っていただきます。また、気候変動適応の実践のために必要となる自社内への啓発に向けた課題と工夫について検討を行っていただきます。

研修の構成

物理的リスクと機会の列挙

- 各企業の事業に関する物理的リスクと機会を気候変動影響の要因と併せて整理していきます。
- 物理的リスクと機会を列挙するため、事前に分析の対象範囲を設定します。

物理的リスクと機会の重要度の評価

- これまでに列挙した物理的リスクと機会に着目して、物理的リスクと機会の重要度を評価します。
- 重要度評価の際には、自社にとっての「事業インパクトの大きさ」の観点から比較します。

将来の物理的リスクと機会による財務インパクト

- 物理的リスクと機会に関する将来の気候変動影響について把握します。
- 大きな事業インパクトを与えられ物理的リスク・機会が企業の財務に与えるインパクトについて検討します。

適応策の検討

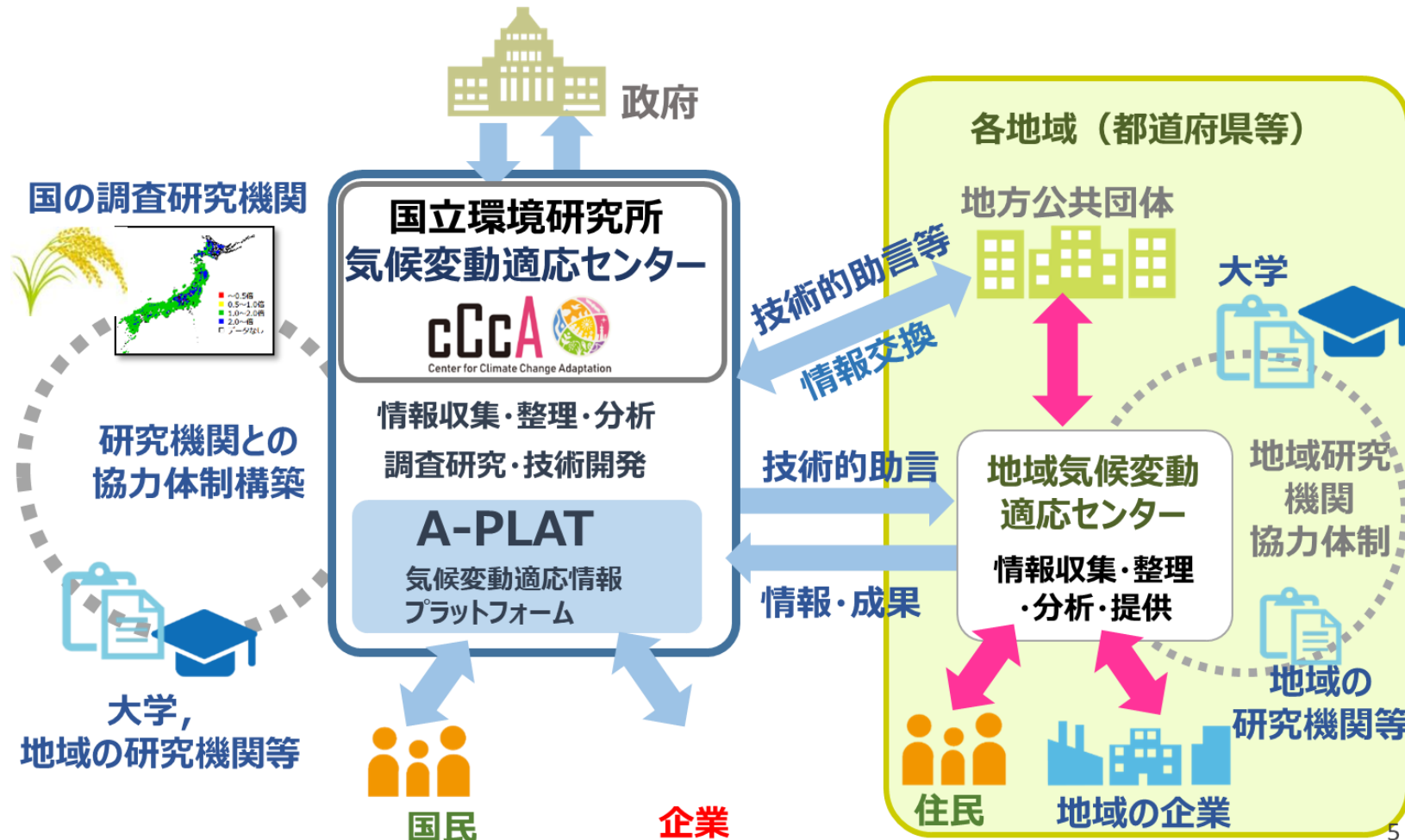
- 物理的リスク・機会が企業の財務に与えるインパクトを踏まえ、企業として実施すべき適応策について検討します。
- 他の経営課題なども考慮して、適応策を選定した理由も整理します。

ここまでの検討を踏まえたディスカッション

- 実際に気候変動適応を実践する上での課題についてディスカッションします。
- 気候変動適応の実践に向けた課題の中でも、特に自社内の経営層や関係部署に対する啓発に向けた課題に着目し、啓発に向けた工夫についてディスカッションします。

国立環境研究所 気候変動適応センター

- 気候変動適応センター(CCCA)が中核となり、情報の収集・整理・分析や研究を推進
- 成果の提供や技術的助言を通じて、気候変動適応策の推進に貢献



A-PLAT(気候変動適応情報プラットフォーム)のご紹介



Climate Change Adaptation Information Platform
気候変動適応情報プラットフォーム



気候変動適応とは



適応しよう



適応事例・データ



普及啓発・
学習ツール



自治体・
LCCACの方へ



事業者の方へ

A-PLATについて →

CCCAの活動・アーカイブ →

サイト内検索



[本文へ](#)



国立環境研究所
National Institute for Environmental Studies





Climate Change Adaptation Information Platform
気候変動適応情報プラットフォーム



気候変動適応とは



適応しよう



適応事例・データ



普及啓発・
学習ツール



自治体・
LCCACの方へ



事業者の方へ

A-PLATについて →

CCCAの活動・アーカイブ →

サイト内検索

[本文へ](#)



国立環境研究所
National Institute for Environmental Studies





事業者の方へ
PRIVATE SECTOR

- | | | |
|---|-----------------------------------|---|
| 1 | 情報・資料 | ▼ |
| 3 | 気候変動リスク分析情報サイト | ▼ |
| 5 | 気候変動リスク・機会の評価等に向けたシナリオ・データ関係機関懇談会 | ▼ |
| 7 | イベント情報 | ▼ |

- | | | |
|---|--------------------|---|
| 2 | 取組事例 | ▼ |
| 4 | 気候変動リスク産官学連携ネットワーク | ▼ |
| 6 | 自治体による事業者支援事例 | ▼ |

A-PLATはこちら 



新着情報 LATEST

2025.05.16 **NEW**

環境省は、水辺や海辺での環境活動や「良好な環境」を活かした地域づくりの推進に向けて、「水辺の環境活動プラットフォーム」ウェブサイトを新たに開設し、会員登録を開始しました。